

## 第73回佐賀県美術展覧会公式ポスター選定審査結果

### □ 県展公式ポスターの作成に関して

県展公式ポスターは、毎年、佐賀県立有田工業校デザイン科3年生と、佐賀女子高校で美術等を学習する2・3年生に、候補作品の制作をお願いし、今年は両校合わせて68作品を制作していただいた。

制作していただいた作品の中から、今年度の公式ポスターを選定するための審査会を行い、下記に紹介する作品が選定された。

今年は特に力作が多く、審査も通常は予備審査、最終審査の2回でほぼ決定するが、3回目の決戦投票、それでも決着がつかず、審査員5名による協議の結果、以下のとおりとなった。

制作していただいた両校の生徒さんたちに、心から感謝の意を表するとともに、御指導いただいた両校の先生方に、合わせて敬意を表したい。

なお、通常は上位3作品に賞を授与し、記念品を贈呈することとしているが、前述したように、今年は甲乙つけがたい作品が多く、審査員で協議した結果、特別賞を2作品に贈ることとした。

### □ 審査概要

#### 【審査日】

- ・ 令和5年7月5日（水）10時～11時30分

#### 【審査経過】

- ・ 全作品を一堂に並べ、第1次審査として、審査員にそれぞれ5作品を選んでもらう  
（審査員5名×5作品＝25作品 ただし、同じ作品が選ばれた場合は、審査員の数を加算）
- ・ 上記で選ばれた18作品の中から、審査員それぞれに3作品を選んでいただき、1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点を与え、1次審査の点数と合わせた総合点数が高い作品を選出する
- ※ これまではこの段階で最優秀賞が決まっていたが、今年は7作品が僅差だったため、この7作品を対象とした異例の最終審査を行った。
- ・ その結果、1位と2位の作品が同点だったため、審査員による協議を行い、最終的に「結果表」のとおり決定した。
- ・ なお、最優秀賞作品が決定した後、審査員の印象に強く残った作品が紹介され、2作品に特別賞を贈ることが決まった。

## 【審査員の意見の集約】

- どのような思いを作品に込めたのか、コンセプトを読んで「なるほど」と感心する作品が多かった。

ポスターになったらコンセプトを読んでいただくことは出来ないが、作品の中に秘められている作者の思いは必ず伝わるものであり、コンセプトは極めて大切だとあらためて感じた。

- 最終的に審査員が同じ思いで選んだ作品は、いずれも「テーマと目的性」「時代感覚」「オリジナリティー」最後に「完成度」という点で、他の作品より優れていたと判断された。

## 【審査員】

- 多良 淳二（二科会デザイン部佐賀支部会員）
- 古賀 史生（佐賀新聞社メディアコンテンツ部学芸班主任）
- 秋山沙也子（佐賀県立佐賀城本丸歴史館学芸員（現代美術専門））
- 緒方 あい（佐賀県文化・観光課 障がい者アート展担当）
- 納富まなみ（株式会社エンターアイ 県展運営担当者）

## □ 審査結果

最優秀賞	木宿 翔天	有田工業高校 3年	※公式ポスター採用
優秀賞	山本 望叶	有田工業高校 3年	
優秀賞	伊藤 環	佐賀女子高校 3年	
審査員特別賞	久間 春菜	佐賀女子高校 3年	
県展事務局特別賞	西山 心彩	有田工業高校 3年	